

教科シラバス（理 科）

| | | | | | |
|--|---|---|---|--|-------------|
| 科目名 | 科学と人間生活 | 履修学年 | 履修単位 | 履修形態 | 授業形態 |
| | | 1 | 2 | 必履修 | 一 斉 |
| 使用教科書・副教材・準備物 | | | | | |
| 高等学校 科学と人間生活(第一学習社)、補助教材、プリント、ノート、ワークなど | | | | | |
| 科目の概要 | | | 学習目標 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・自然と人間生活とのかかわり、および科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察・実験などを通して理解し、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・科学技術の発展が、今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解する。 ・身近な自然の事物・現象および日常生活や社会の中で利用されている科学技術を取り上げ、科学と人間生活とのかかわりについて認識を深める。 ・自然と人間生活とのかかわり、および科学技術が人間生活に果たしてきた役割についての学習を踏まえて、これからの科学と人間生活とのかかわり方について考察する。 | | |
| 年間学習プログラム | | | | | |
| | 学習内容 | | 学習のねらい | | |
| 1 学期 | 第Ⅰ章 物質の科学 <ul style="list-style-type: none"> ・ 材料とその利用 ・ 衣料と食品 第Ⅱ章 生命の科学 <ul style="list-style-type: none"> ・ ヒトの生理現象 ・ 微生物とその利用 | | <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにある材料物質、衣料、食品の基本的な知識や性質等について学習する。 ・ヒトの生命現象又は微生物とその利用について、人間生活と関連付けて理解を深める。 | | |
| 2 学期 | 第Ⅲ章 熱や光の科学 <ul style="list-style-type: none"> ・ 熱の性質とその利用 ・ 光の性質とその利用 第Ⅳ章 地球や宇宙の科学 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然環境と自然災害 ・ 太陽と地球 | | <ul style="list-style-type: none"> ・熱や光の性質、その有効利用等について学習します。植物や人と光との関わり等について学習する。 ・火山、地震、気象について変化や災害、太陽と地球と関わり等について学習する。 | | |
| 3 学期 | 第Ⅴ章 これからの科学と人間生活 <ul style="list-style-type: none"> ・ まとめ | | <ul style="list-style-type: none"> ・今まで学習した内容をさらに深めるとともに、1年間のまとめをする。 | | |
| 評価の観点及び内容 | | | | | |
| a. 知識・技能 | | b. 思考・判断・表現 | | c. 主体的に取り組む態度 | |
| 科学技術の発展の人間生活への貢献、身近な事物・現象を通しての現代の人間生活と科学技術の関連性についての知識を身につけ、これからの科学技術と人間生活のあり方について理解する。 また、身近な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付ける。 | | 身近な事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験、調査などを行って得た結果について、科学的に思考し、判断する。 そこから導き出した自らの考えを的確に表現する。 | | 身近な事物・現象に関心や探究心を持ち、科学的な視点・考察力を養うとともに、科学技術に対する関心を高める態度を身に付ける。 | |
| 評価方法及びその他留意事項 | | | | | |
| 定期考査だけでなく、小テスト・宿題・ノート・ワーク・プリント、普段の授業態度・意欲を総合的に評価する。なお、課題・レポート・ノート等の提出を確実にを行うこと。日々、こつこつと努力して授業に臨むこと。 | | | | | |